

共創活動から生まれる 第二のキャリア

-『クックパッド料理教室』事例研究-

大阪女学院大学

青木 慶

はじめに：共創プラットフォーム から生まれるキャリア



You Tuber：企業からのコンテンツ制作
依頼を請け負うなど



ボカロP：プロの歌手に楽曲提供など



人気レシピ作者：料理教室を主宰する
など

本稿の問題意識と目的

企業と消費者の価値共創の真価は、持続的な取り組みによって発揮される。

どうすればそれを実現できるのか。

共創活動への参加がどのようにキャリア形成へと昇華されるのかについて考察することにより示唆を得る

先行研究レビュー： 共創参加者のモチベーション

先行研究

- ▶ 企業からの評価 (Jeppesen and Freddriksen ,2006)
- ▶ 他のメンバーからのフィードバック (Fuller et al.,2011)
- ▶ WIN-WINの関係性が重要。レゴ社では**報酬を与えたり、コミュニティメンバーを雇い入れたり**する (Antorini et al.,2012)

本研究

- ▶ Fuller et al.(2012)と同じく、他のメンバーからのフィードバックが重要であるという立場
- ▶ **企業は**機会を与えるが、**報酬やキャリアを与えない**。共創参加者の**自律性**に依拠。

先行研究レビュー： ユーザーイノベーションのもたら す社会的効果

先行研究

- ▶ ユーザーイノベーターが余暇など労働時間以外の時間を使って経済的な価値を生み出す⇒**企業がそれを活用**することが社会的に有用

(Baldwin and von Hippel, 2011; Raasch and von Hippel, 2015; Gambardella et al., 2014)

本研究

- ▶ **個人が**余暇などの活動から、**自身の能力を見出して**キャリア形成に至る

先行研究レビュー： パラレルキャリア

先行研究

- ▶ 人間の方が組織より長命になったため、組織のみに頼らず第二の人生を始めることが必要
- ▶ パラレルキャリア（第二の仕事）を持つことがひとつの方法
- ▶ 本業と並行して非営利組織で働いてみることなどを推奨

(Drucker, 1999)

本研究

- ▶ 共創活動からのキャリア形成は**本業との並行**が可能
- ▶ **パラレルキャリア**を実現する一つの方法

調査概要

調査方法：『クックパッド料理教室』の講師への半構造化インタビュー

説明変数：共創活動への参加



目的変数：キャリア形成



聞き取り項目

- ▶ これまでのキャリア
- ▶ クックパッド利用経験：これまでの閲覧・投稿履歴、現在の状況、今後の意向
- ▶ 料理教室開講のきっかけやプロになることへの意識づけ

クックパッド概要



- ▶ 日本最大のレシピ投稿サイト（1998年～）
- ▶ レシピ数210万超*
- ▶ 月間のべ利用者数5000万人超

*2015年8月時点



レシピ投稿



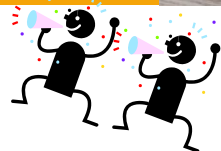
つくれば投稿



つくれば

写真

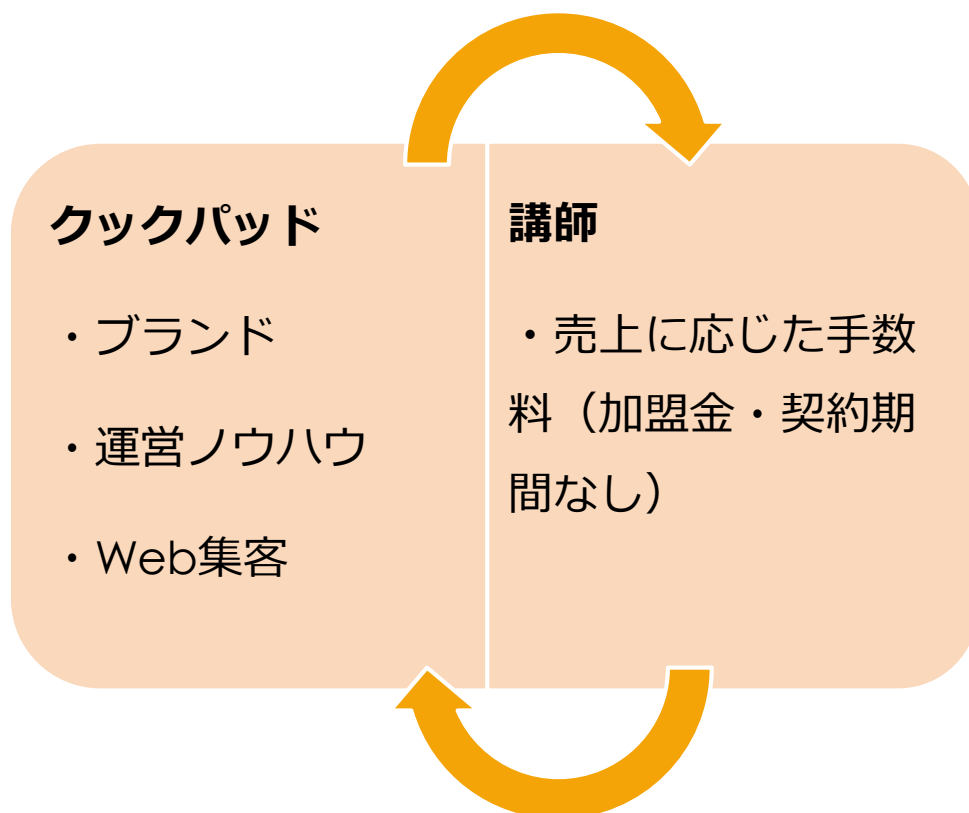
30字以内の
コメント



クックパッド料理教室概要



- ▶ **フランチャイズ方式の料理教室**
(2014年3月～)
- ▶ 2015年4月からクックパッド料理教室株式会社として完全子会社化
- ▶ レッスン場所：主に**講師の自宅**
- ▶ レッスン料金：**1回 ¥4,800**
- ▶ レッスン内容：料理、パン、お菓子、ワイン講座など
- ▶ 2015年6月時点で約200教室



インタビューの選定

本研究の調査対象であるAとBから各2名を選出
比較対照のため、Cからも1名を選出

	レシピ投稿あり	レシピ投稿なし
職業的な専門性 なし	A <u>クックパッドへの投稿が高じ</u> <u>て料理教室を開講。</u>	C 料理とは別のキャリアから転 向。
職業的な専門性 あり	B パティシエなどの <u>有資格者</u> で、 <u>クックパッドへの投稿を経て</u> 料理教室を開講。	D クックパッド料理教室開講以 前から、個人で料理教室を開 講。もしくはシェフなどプロ の料理人。

全体の10%程度

最多層



ケース1 福島教室 津田先生 簡単おうちごはんの料理教室



つくれば投稿 **2322**件

レシピ投稿 **378**件

共創活動履歴

コンテスト入賞

レシピ本への掲載

レシピ本出版

テレビ出演

料理教室開講

キャリア略歴

サービス職/事務職
(17年)

料理教室
(1年半)

ケース2. 可児教室 金子先生 ホームパーティー料理教室



キャリア略歴

ピアノ教室 (18年)

料理教室
(1年)



つくれば投稿 7328件

レシピ投稿 1075件

共創活動履歴

コンテスト入賞

レシピ本への掲載

ブログ開設

テレビ出演

料理教室開講

ケース3. 守口教室 濱野先生 スイーツ研究家のお菓子教室



つくれば投稿 13件

レシピ投稿 **1件**

共創活動履歴

テレビ出演

ブログ開設

キャリア略歴

パティシエ
(通算5年半)

販売職 (10年)

料理教室
(2年半)

料理教室開講

ケース4. 都島教室 松尾先生 スイーツとデコのお菓子教室



つくれば投稿 49件

レシピ投稿 69件

共創活動履歴

キャリア略歴

美容関係
(14年)

事務職

パティシエ
(5年)

料理教室
(10か月)

料理教室開講

ケース5. 千林教室 今西先生 お気に入りの空間で“毎日のごはん”

キャリア略歴

看護師
(9年)

7年

看護師
(9年)

手作り市
(6年)

料理教室
(3年)

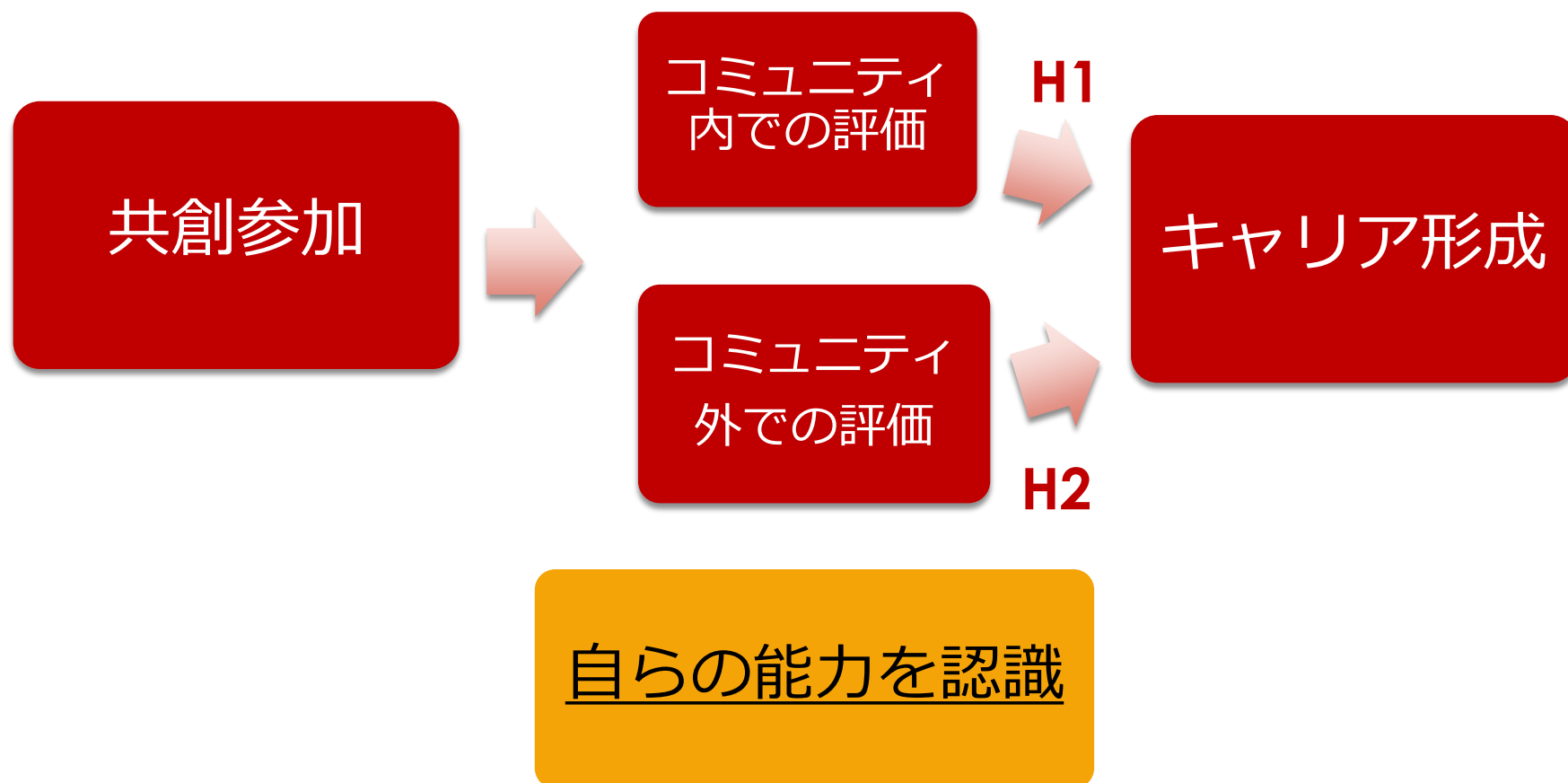


インタビュー結果サマリー

		クックパッドにおける経験					
		レシピ 投稿数	つくれば 投稿数	コンテス ト入賞	レシピの 書籍化	テレビ出演	今後の投稿 意向
ケース1	福島教室 津田直子	378	2,322	○	○	○	○
ケース2	可児教室 金子美和	1,075	7,328	○	○	○	◎
ケース3	守口教室 濱野美佐子	1	13	-	-	○	×
ケース4	都島教室 松尾美佳子	69	49	-	-	-	○
ケース5	千林教室 今西愛奈	-	-	-	-	-	△

(敬称略)

共創参加とキャリア形成の関係性に関する仮説（ケース1～3より）



共創参加とキャリア形成の関係性 に関する仮説（ケース4より）

H3

キャリア志向



共創参加

共創活動から様々な活動が派生



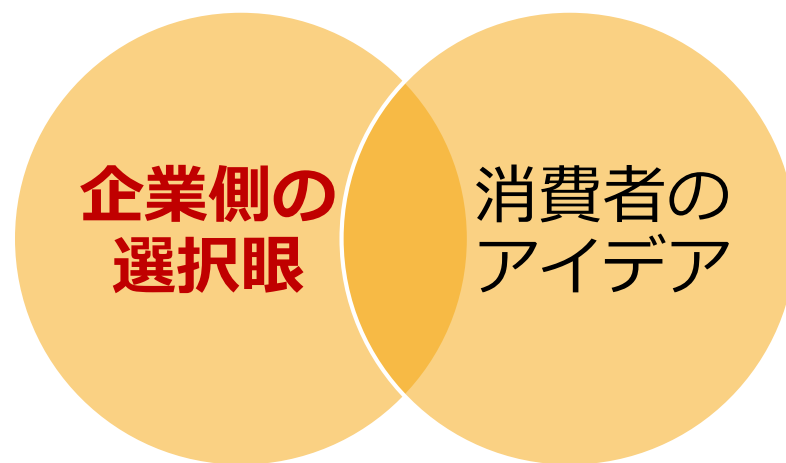
エコシステム形成



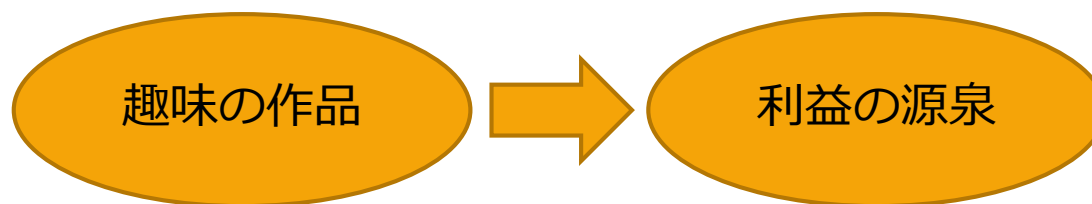
共創活動への誘引
力向上

インプリケーション： 企業の選択眼の重要性

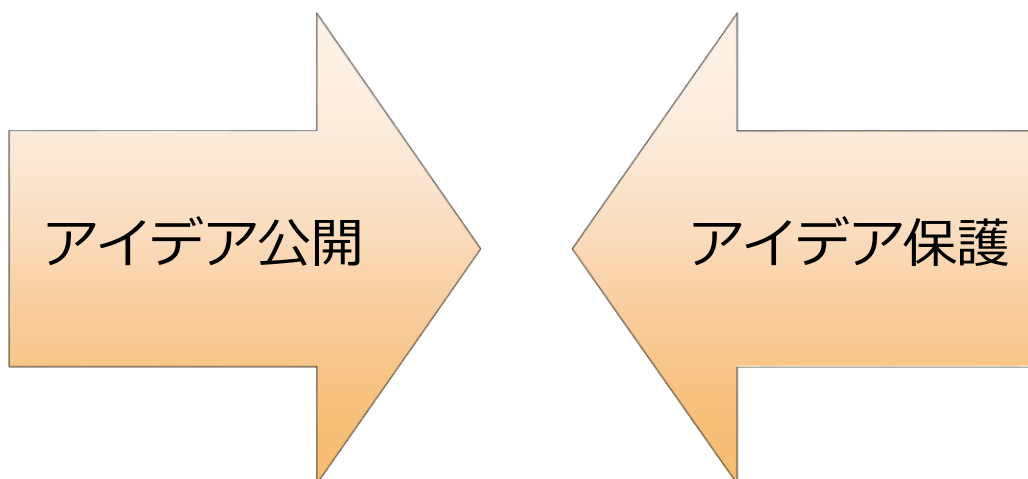
共創活動は**企業の選択眼**と消費者のアイデアの両輪で成り立つ。



インプリケーション： アイデア保護の問題



位置づけが変わった時に、どう対応すべきか。



研究の限界と課題

本研究の限界

- ▶ 調査結果の**外部妥当性**の検証には至らない。
- ▶ クックパッド料理教室内でも**限られた調査対象**から得られた調査結果である。

今後の課題

- ▶ 導出された仮説の検証。
- ▶ 本調査結果の妥当性の確認。

主な参考文献

- Antorini, Y.M., A. M. Muñiz, Jr. and T. Askildsen (2012), "Collaborating With Customer Communities: Lessons From the Lego Group", *MIT Sloan Management Review*, 53(3), pp.73-79.
- Baldwin, C. and E.von Hippel (2011), "Modeling a paradigm shift: From producer innovation to user and open collaborative innovation", *Organization Science*, 22(6), pp.1399-1417.
- Drucker, P. F. (1999), *Management Challenges for the 21st Century*, Collins Business. (上田惇生訳『明日を支配するもの:21世紀のマネジメント革命』ダイヤモンド社, 1999年)。
- Füller, J. (2010), "Refining virtual co-creation from a consumer perspective." *California Management Review*, 52(2), pp.97-122.
- Gambardella, A., C.Raasch and E.von Hippel (2014), "The user innovation paradigm: impacts on markets and welfare", Available at SSRN 2079763.
- Janzik, L. and C.Raasch (2011), "Online communities in mature markets: Why join, why innovate, why share?", *International Journal of Innovation Management*, 15(4), pp.797-836.
- Jeppesen, L.B and L.Freddriksen (2006), "Why Do Users Contribute to Firm-Hosted User Communities? The case of Computer-Controlled Music Instruments", *Organization Science*, 17(1), pp.45-63.